



かめやま教育通信

第16回



子育てをハッピーに！

～亀山の子どもたちが、希望に輝き心豊かに自分の人生を歩めることを願って～

親も子も幸せになれる子育てを願い、今回から“0歳から15歳までの子育てアドバイス”を連載します。

人としての基盤となるものは、0歳から芽生え始めます。それを周りの人との関わりでどのように培うかが、その後の人間形成に大きく関わってきます。親が与える安心感の中で育った子は、笑顔あふれる子に育ちます。

なかなか思いどおりにならないこともあります。肩の力を抜き、できることから少しずつ取り組んでいきましょう。



ネイティブアメリカンに伝わる「インディアンの教え」

何百年という子育ての経験から生まれた子育ての基本となる原則を述べたものですが、子育てに迷ったときにヒントとなりそうな言葉がありますのでご紹介します。

- 批判ばかり受けて育った子は非難ばかりします
- 敵意にみちた中で育った子はだれとでも戦います
- ひやかしを受けて育った子は“はにかみ屋”になります
- ねたみを受けて育った子はいつも悪いことをしているような気持ちになります
- 心が寛大な人の中で育った子はがまん強くなります
- はげましを受けて育った子は自信を持ちます
- ほめられる中で育った子はいつも感謝することを知ります
- 公明正大な中で育った子は正義心を持ちます
- 思いやりのある中で育った子は信仰心を持ちます
- 人に認められてる中で育った子は自分を大切にします
- 仲間の愛の中で育った子は世界に愛を見つけます

出典：『アメリカ・インディアンの教え』 著者／加藤諦三



0歳児の子育てアドバイス

0歳児の育児で大切なのは、親子の信頼関係を築くことです。赤ちゃんは、泣くことで自分の思いを表します。赤ちゃんの思いをすべて受け入れ、抱っこしたり、授乳したり、おむつを替えたりなど、そのことで信頼関係が築かれていきます。

抱っこをたくさんしましょう

赤ちゃんの頃に大切なのは、スキンシップです。赤ちゃんの体に触れることで、「自分が大切にされている」「自分のことで喜んでくれている」と赤ちゃんは感じる事ができ、自己肯定感が育ちます。

穏やかに育てられた子どもは、自身も穏やかで思いやりのある子になります。

赤ちゃんの気持ちを言葉にして語りかけましょう

赤ちゃんがまだしゃべらないうちに言葉をかけても意味がないと思われがちですが、赤ちゃんの気持ちを代弁することで、自分の気持ちを言葉で伝えられるようになります。

「おむつが濡れて気持ち悪かったね」「さびしかったんだね、もう大丈夫」など、言葉にしてみましょう。

